

【報道関係各位】

2011年8月15日

株式会社ベネッセコーポレーション

代表取締役社長 福島 保

小・中・高校生を対象にした環境コンクールを開催

株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山市、以下：ベネッセ）では、小学生から高校生までを対象にした「環境コンクール」を開催しています。子どもの時間がとれる夏休みの時期に、環境について改めて考察し、アクションをおこしてもらうことを目的に、2008度より実施しています。

＜小・中・高校生を対象にした環境コンクールについて＞

■小学生（5・6年生）対象：「全国小学生『未来』をつくるコンクール～環境部門～」＜締切：9/10(土)＞

「きみのエコ報告～環境について考えたこと、調べたこと、取り組んだことなどを教えてね～」をテーマに、興味を持った「環境問題」について調べ、今後取り組みたい活動の提案をしてもらいます。

コンクールを通じて、子どもたちに「身の回り～地球環境」について関心を持ち、考える機会にしたいと思います。

なお、環境部門のほか全小学生を対象にした作文部門、自由研究部門で構成される「全国小学生『未来』をつくるコンクール」では、応募作品の中から「大賞」「審査員特別賞」「優秀賞」を選出、さらに、2011年度は新たに「ネット賞（トヨタ自動車株式会社提供、環境部門のみ）」を新設しました。「大賞」「審査員特別賞」「ネット賞」の受賞者は、2011年12月11日（日）東京にて開催予定の授賞式で表彰される予定です。

■中学生対象：「中学生環境コンクール」＜締切：9/6(火)＞

普段の暮らしの中で実践している（あるいは、実践したい）「節電や省エネ」活動について、減らすための考えや取り組みに関するレポートを募集します（エコ・レポート部門）。

また、同時に、「今、わたしたちにできること～打ち水と夏の約束」をテーマに、庭や道路に水をまいて、夏の間に涼をとる昔から伝わる日本人の知恵の一つである「打ち水」することを専用Webサイト「中学生環境部」上で宣言してもらいます。自分の生活を振り返ることで、環境活動について考える機会を提供します。

なお、エコ・レポート部門へ優秀な作品をお送りいただいた方々を対象に、美しい自然とアートに囲まれた瀬戸内海の島「直島」において、環境を知り環境を考えるきっかけにする2泊3日のツアー「進研ゼミ編集部と行く！直島春休み環境体験」を提供します。（詳細は、受賞者にお伝えします。）

■高校生対象：「高校生環境小論文コンクール」＜締切：9/30(金)＞

環境問題についての考えを、小論文の形式で募集します。環境問題に対する解決策は、大人よりもむしろ、高校生の柔軟でユニークな考えにこそヒントがあるとベネッセは考えます。身近な問題から考えを深め、また小論文の書き方についての学びにもつながる機会を提供します。優秀論文は表彰するとともに、ホームページで全文を発表させていただきます。

環境についての関心がますます高まる中、ベネッセでは、環境に対する配慮が出来る次世代の育成を行うための活動を、継続的に行ってまいります。今後も更なる環境啓発活動や環境情報の発信など、事業特性を活かした環境活動を推進していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ベネッセコーポレーション 広報部 担当：西沢・坂本・濱野・三田村

TEL: 042-356-0657 FAX: 042-356-0722

<添付資料>

■2010 年度実績■

- 環境コンクール募集結果:全国の小学生・中学生・高校生より 5,716 点の応募がありました。

・ 内訳:小学生 304 件、中学生 5,203 件、高校生 209 件

■環境コンクールの詳細■

【小学生対象】 「第 8 回 全国小学生『未来』をつくるコンクール」 環境部門

2004 年からスタートした「もっと！チャレンジ全国コンクール」は、今回で 8 回目となります。2008 年度より小学 5 年、6 年生を対象に「環境部門」を設置しています。

応募対象	全国の小学 5 年、6 年生(環境部門) ※環境部門は小学 5 年、6 年生のみが対象です。環境部門以外に、小学 1 年生～6 年生までの全学年を対象にした作文部門、自由研究部門があります。詳細はWebサイトをご覧ください。
応募期間	7 月 1 日 (金) ～9 月 10 日 (土)
テーマ	「きみのエコ報告～環境について考えたこと、調べたこと、取り組んだことなどを教えてね～」 (形式・サイズ・枚数自由)
応募窓口	〒700-8686 岡山支店 郵便私書箱第 154 号 (株)ベネッセコーポレーション 「第 8 回 全国小学生『未来』をつくるコンクール」 小学生の部 応募係
応募方法	HP より、応募方法を確認のうえ、作品と共に上記応募窓口まで送付
主催/共催/後援	<ul style="list-style-type: none"> ・主催:Benesse 教育研究開発センター ・共催:進研ゼミ「小学講座」、ベネッセグリムスクール、朝日小学生新聞、 ・後援:環境省、東京都教育委員会、全国小学校理科研究協議会、全国小学校生活科・総合的な学習教育研究会、全国教育研究所連盟、一般社団法人環境教育振興協会 ・協力:トヨタ自動車株式会社
問合せ先	「第 8 回 全国小学生『未来』をつくるコンクール」 0120-92-5096 (通話料無料) 受付時間: 10:00～20:00 ※2012 年 3 月 31 日までオープン (日曜・祝日・年末年始を除く)
Web サイト	http://www.benesse.co.jp/s/land/concour2011/index.shtml
入賞者の発表	それぞれの募集部門・学年で大賞・審査員特別賞・優秀賞、また、今年度新たに環境部門に設置された「ネット賞 (トヨタ自動車株式会社提供)」に選ばれた方のお名前は、「全国小学生『未来』をつくるコンクール」HP ならびに朝日小学生新聞などで 12 月中旬に発表予定
表彰式	2011 年 12 月 11 日 (日) 東京にて開催予定

《ご参考》「環境部門」以外の募集部門について

作文部門	小 1・2: 「ぼくが わたしが もしも まほうを つかえたら」(本文 200 字以内) 小 3: 「ぼくが わたしが むちゅうになっていること」(本文 300 字以内) 小 4: 「きみが むちゅうになっていること」(本文 300 字以内) 小 5・6: 「きみのしょう来の夢について伝えよう」(本文 400 字以内)
自由研究部門	小 1: 「ぼくが わたしが みつけた いきものの え」 小 2: 「ぼくが わたしが 見た・さわった生きものの 絵」 小 3: 「ぼくの わたしの ふしぎ調査」

	小 4: 「きみの不思議調査」 小 5・6: 「きみの発見調査レポート」
--	---

【中学生対象】「中学生環境コンクール」

応募対象	全国の中学 1 年～3 年生
応募期間	6 月 29 日（水）～9 月 6 日（火）
応募部門 テーマ	<p>① エコ・レポート部門「私ができる省エネ&エコ活動」 普段の暮らしの中で実践している（あるいは、実践したい） 「節電や省エネ」活動について、減らすための考えや取り組みに関するレポートを募集。 （レポート用紙で 5 枚程度、もしくは原稿用紙 1200 字程度）</p> <p>② エコ・アクション部門「今、わたしたちにできること～打ち水と夏の約束」 庭や道路に水をまいて、夏の間に涼をとる昔から伝わる日本人の知恵の一つである「打ち水」することを専用 Web サイト「中学生環境部」上で宣言してもらいます。 なお、エコ・レポート部門へ最優秀賞 1 名・優秀賞 3 名には、美しい自然とアートに囲まれた瀬戸内海の島「直島」において、環境を知り環境を考えるきっかけにする 2 泊 3 日のツアー「進研ゼミ編集部と行く！直島春休み環境体験」を提供します。</p>
応募窓口	専用 Web サイトにて受付 <small>※進研ゼミ「中学講座」・「中学講座+ij」・「難関私立中高一貫講座」会員には専用はがきあり</small>
Web サイト	http://chu.benesse.ne.jp/open/eco/2011/
入賞者の発表	2011 年 10 月中旬以降＜中学生環境部＞専用サイトで発表予定

【高校生対象】「第 4 回高校生環境小論文コンクール」

応募対象	全国の高校生、相当する高等専門学校生など
応募期間	7 月 1 日（金）～9 月 30 日（金）
テーマ	<p>「家、学校、地域などあなたの身の回りで、地球や生物に負荷をかけていると思う問題を挙げ、〇〇の立場から、その問題の解決策を 800 字以内で提案しなさい。 その際、その解決策が有効だと思う理由も述べなさい。〇〇には、あなたの設定したい立場を自由に入れなさい。 ※例：環境大臣、企業の社長、教師、高校生など」</p>
応募方法	「高校生環境小論文コンクール」HP より応募（WEB 応募のみ）
URL	http://manabi.benesse.ne.jp/kankyo/index.html
入賞者の発表	12 月初旬ごろを予定